

「鉄道」



保土ヶ谷駅



保土ヶ谷駅

保土ヶ谷区の表玄関、保土ヶ谷駅は、明治20年7月東海道線の開通によって、「程ヶ谷駅」として、戸塚、藤沢など5つの駅と一緒に開設された。程ヶ谷駅は昭和6年10月、「保土ヶ谷駅」と字句が改められ、平成29年7月で開設130周年を迎えた。



市電延伸工事 保土ヶ谷駅前



横須賀線

保土ヶ谷駅



保土ヶ谷駅 バスを待つ人がたくさん。昭和56年に駅が橋上駅舎になってから、駅前広場も整備され、雰囲気かがらりと変わった。



市電路線延長(戦後初) 保土ヶ谷駅前

東口の駅前には市電が走っていた。

相模鉄道 創立100周年!

相模鉄道

砂利輸送を目的としてスタートした相模鉄道(神中鉄道)。現在は、区民の足として欠かせない相鉄線だが、当時の沿線は、農村地帯が多く、相模川で採取される砂利の運搬が輸送の中心となっていた。

星川駅



北程ヶ谷駅(昭和初期)



上星川駅(昭和39年)



天王町駅(昭和34年)

かつて活躍した車両



旧5000系(昭和30~50年)



3000系(昭和22~40年)

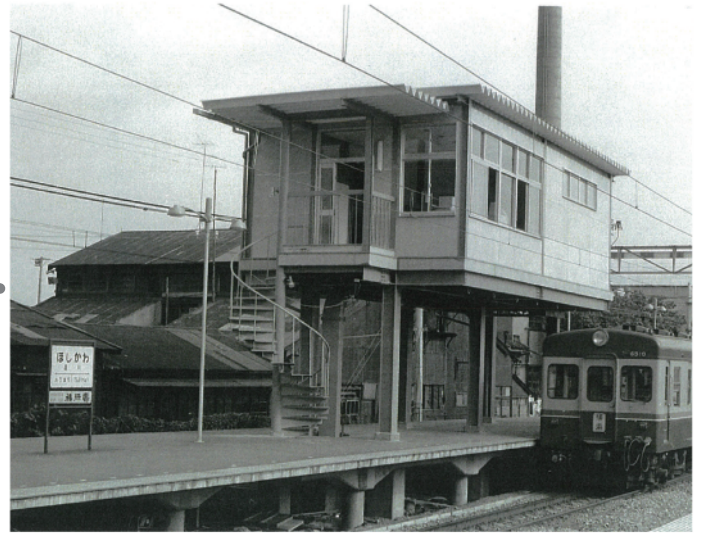


神中3号 蒸気機関車(大正15年~昭和26年)



星川駅(現在)

平成29年3月、下り線が高架化された。



星川駅(昭和43年)



西谷駅(昭和39年)



和田町駅(昭和45年)



3010系(昭和39年~平成10年)



6000系(昭和36年~平成10年)



6000系(昭和36年~平成10年)